

北國がレギュラーシーズン1位を決定

～第34回 日本ハンドボールリーグ・第21週～

第34回日本ハンドボールリーグ第21週は、2月27、28日、女子のレギュラーシーズン最終戦となる3試合が行われた。レギュラーシーズン1位を争っていた北國銀行はHC名古屋を、オムロンは三重バイオレットアイリスに順当勝ち。ともに15戦12勝1分2敗で並び、対戦間得失点差で上回った北國がレギュラーシーズン1位、オムロンが2位に。これでプレーオフは、3月20日の準決勝がオムロンとレギュラーシーズン3位のソニーセミコンダクタ九州、21日の決勝が、北國と準決勝の勝者というカードに決定した。

前週2月20日、オムロンとの直接対決で引き分け、対戦間得失点差で優位に立っていた北國は、2月28日、愛知で名古屋と対戦。北國は序盤、名古屋ゴールを死守するGK家城の堅守に苦しみ、得点ペースが上らなかったものの、持ち前の足を活かしたアグレッシブなディフェンスと、GK田代の堅守で名古屋の攻撃を遮断。そこから若松、横嶋らへの速攻につなげて着実にポイントをあげ、北國が前半を14-6と8点リードで折り返した。後半、北國は鈴木、高橋（玲）を中心とした名古屋の粘りに手を焼いたものの、存在感を見せつけたエース上町の活躍などでリードを広げ、27-14と13点差で勝利。第22回リーグ以来となるレギュラーシーズン1位を決めた。

2月27日、オムロンは熊本で三重と対戦。スタートからオムロンが高田、巻で連取すれば、三重も星野、桂、伊藤の3連打で応酬と、激しく主導権が行き交う展開に突入。後半10分過ぎまで一進一退のゲームとなった。そこから試合が大きく動き、11分、17-15と2点リードしていたオムロンが、東濱のゴールをきっかけに19分過ぎまでに7連取。24-15と9点リードを奪ったオムロンが、橋本を軸とする三重の懸命の反撃をおさえ、27-20と順当に12勝目をマークして、レギュラーシーズンを締めくくった。

同27日、レギュラーシーズン3位が確定していたソニーは、地元・鹿児島で広島メイプルレッズと対戦。序盤から激しい点の取り合いとなり、前半残り5分、14-14の同点から安齋、植垣、菅野で3連取した広島が17-16と先行して後半へ。後半立ち上がりも優位を保った広島に対し、ソニーは7分、19-22と3点ビハインドの場面から、東、田中、高栖の3連取で追いつくと、13分から18分にかけても広島に4連打を浴びせて逆転。堂面、横田の両GKが7mスローを阻止するなどして懸命に持ちこたえる広島を辛くも振り切ったソニーが、11勝目をマークした。

次の第22週は、レギュラーシーズンの最終週。3月5日、6日、7日に男子の1試合ずつが組まれている。トヨタ車体、湧永製薬が豊田合成、琉球コラソンをそれぞれ破れば、車体のレギュラーシーズン2位、湧永の3位が確定する。そして、7日、最後を締めくくる大崎電気-大同特殊鋼戦がが一番。8勝1分4敗の勝点17の大崎電気は、レギュラーシーズン1位の大同に勝つか引き分けないと、プレーオフ出場権を逃す5位に。8勝2分4敗の勝点18で全日程を終えているトヨタ紡織九州は、湧永、そして大崎の試合結果を待つことになる。



④レギュラーシーズン1位を決めた北國銀行・野路（良）⑤オムロンに挑むソニーセミコンダクタ九州・中島

第22週の日程

3月5日(金)	愛知	ウイングアリーナ刈谷(名鉄名古屋本線富士松駅徒歩20分)	19:00～	(男)	トヨタ車体×豊田合成
6日(土)	沖縄	沖縄県立武道館(沖縄都市モノレール奥武山公園駅徒歩5分)	14:00～	(男)	琉球コラソン×湧永製薬
7日(日)	茨城	ひたちなか市総合運動公園総合体育館(JR常磐線勝田駅バス海浜公園行「市民球場入口」下車徒歩15分)	14:00～	(男)	大崎電気×大同特殊鋼

◆ 2月27日(土) 女子 熊本・水俣市立総合体育館 オムロン 27 (14-12) 20 12勝1分2敗 三重バイク トアリス 4勝0分11敗 K 勝田 浅井 K <0/2> 2/3 城内 横川 4/5 8/9 高田 桂 4/6 2/3 巻 宮下 1/3 0/0 市村 谷口 0/1 3/3 2/7 藤井 北村 0/0 2/4 石立 橋本 5/8 0/0 久野 毛利 K <0/2> 1/5 洪廷昊 星野 3/6 K 藤間 小川 0/0 1/1 勝連 伊藤 3/14 0/1 吉田薫 伊島 0/0 1/1 0/2 永田 5/12 東濱 4/4 23/47 2(FPP)9 20/43 0/0 審判(浦川・石崎) 観客 512人	◆ 2月27日(土) 女子 鹿児島・霧島市国分体育館 ユニセコング タ九州 31 (16-17) 29 11勝0分4敗 広島メイプル レッズ 5勝0分10敗 <1/2> K 中島 堂面 K <2/4> 5/15 郭恵静 土屋 1/1 1/5 長野 村山 0/0 1/2 4/6 高橋 河田 1/1 5/9 田中 大前 4/5 0/0 山田 植垣 4/18 1/3 0/1 0/0 儀間 菅野 9/15 8/11 高栖 伊藤 0/0 4/9 黒木 五月女 6/13 <1/1> K 飛田 横田 K <1/3> 0/0 飯田 安齋 2/5 3/4 0/0 東 石山 0/0 0/0 張素姫 高山 0/0 K 伊地知 新城 1/2 4/7 27/55 12(FPP)9 28/60 1/3 審判(金子・児玉) 観客 468人	◆ 2月28日(日) 女子 愛知・ブラザー工業体育館 北國銀行 27 (14-6) 14 12勝1分2敗 HC名古屋 0勝0分15敗 <2/3> K 寺田 近藤 K <0/4> 2/2 鰐場 池田 3/3 4/4 5/9 上町 佐藤 0/0 3/4 宮前 高橋瑛 1/3 3/3 佐久川 鈴木 2/7 0/1 0/2 川井 菅谷 3/10 1/2 0/0 中村 外本 0/3 3/5 横嶋 上野 1/1 1/4 野路良 高橋玲 1/3 K 田代 家城 K 3/6 仲宗根 秋山美 1/3 0/2 井上 脇田 1/3 0/1 八十島 比嘉 0/1 3/6 若松 山内 0/0 4/4 23/44 3(FPP)4 13/37 1/3 審判(油上・中村) 観客 612人
---	--	---

FOGが優勝飾る

第1回 チャレンジディビジョン



優勝を飾ったFOG・小川

第1回チャレンジディビジョンは2月27、28日にトヨタスポーツセンター第1体育館(愛知)で東西両地区の全11チームが参加して順位決定戦を行った。東西上位2チームと同3位以下のチームによる順位トーナメントが行われた結果、FOG(東地区2位)がトヨタ自動車(東地区1位)との決勝を33-29で勝利し、初代チャンピオンに輝いた。この試合、準決勝でHonda(西地区1位)を破って意気上がるFOGが、先行したトヨタ自動車をとらえ、後半、気迫あふれる攻守で見事なラストスパートを披露した。3位決定戦はHondaが制した。全順位は別掲の通り。

順位決定戦スコア

▽決勝トーナメント・準決勝	
トヨタ自動車 38 (16-8)	17 HC MKA
F O G 28 (18-10)	26 Honda
同・決勝	
F O G 33 (18-16)	29 トヨタ自動車
3-4 決定戦	
Honda 43 (20-6)	13 HC MKA
▽順位トーナメント・1回戦	
HC岐阜 42 (22-12)	27 高松大学
大同大学 30 (13-13)	25 八光自動車
徳山クラブ 29 (12-11)	24 セントラル自動車
同・2回戦	
HC山口 36 (16-16)	30 HC岐阜
大同大学 33 (18-9)	21 徳山クラブ

5-6位決定戦

HC山口 31 (17-10) 24 大同大学

7-8位決定戦

HC岐阜 36 (17-11) 29 徳山クラブ

9-11位決定リーグ

セントラル自動車 38 (23-20) 35 高松大学
高松大学 31 (13-16) 25 八光自動車
セントラル自動車 35 (15-13) 24 八光自動車

最終順位

① FOG ② トヨタ自動車 ③ Honda
④ HC MKA ⑤ HC山口 ⑥ 大同大学
⑦ HC岐阜 ⑧ 徳山クラブ ⑨ セントラル自動車 ⑩ 高松大学 ⑪ 八光自動車



ブルーファルコンの一押し軍団!

豊田合成の一押し軍団を紹介したいと思います。

No.3 原貴之 三重県四日市工業から2004年に入社。6年目のシーズン。No.7 桶谷英則 市立岐阜商業から2005年に入社。5年目のシーズン。No.5 黒木健二 高校界屈指の強豪である小林工業から2007年入社。3年目のシーズン。

No.20 前田晃平 鹿児島国分中央高校から2009年に入社。No.29 山下照人 熊本県天草工業から2009年に入社。共に1年目のルーキー。

大学卒業選手が多い日本リーグで、多くの高校卒業の選手がいるのもブルーファルコンぐらい。さまざまな思いを胸に飛び込んできた日本リーグの舞台で色々な苦勞をしてきている彼らから学ぶべきことは多い。さらに原、桶谷は2部時代を唯一経験している二人。環境の変化と共に社会人として、またハンドボール選手として大きく成長した。試合に勝ったとき人一倍喜びを表現するのも彼ら二人。彼らの合言葉は「大卒組に負けぬ」「高卒でもやれる」だ。彼らも試合に出れば、大学卒業の選手に引けをとらないほどに成長。これからの成長に期待し、夢は日本一だ。

黒木、前田、山下もやはり大学卒業の選手とは会社での環境も違い、夜勤勤務があったりと同世代の大学生に比べるとやはり練習量が減ってしまうのも事実。しかし、学生時代とは違い甘えの許されない中、学生練習より内容の濃い、畠中ヘッドコーチの指導のもと、時折見せる好プレーに存在感を表してきている。彼ら3人が成長することでチーム内競争が生まれチームにとって確実にプラスになる。彼ら3人もリーグ戦で活躍することを夢見て日々の練習に打ち込んでいる。

彼らの若さあふれる、はつらつとしたプレーにご期待ください。また感謝の気持ちが一番強いのもこの5人。彼らの感謝の気持ちを前面に出したプレーをぜひ見に来てください。皆さんが感じているハンドボールとは一味違ったプレーをご覧に頂きたいと思います。そんな彼らの応援また、発展途上の豊田合成ブルーファルコンの応援よろしくお願ひします。



写真左から黒木、山下、前田、原、桶谷



最優秀選手賞に輝いた北國銀行・上町

第34回日本リーグ女子表彰一覧

・最高殊勲選手賞	プレーオフ終了後発表			
・最優秀監督賞	プレーオフ終了後発表			
・殊勲選手賞	プレーオフ終了後発表			
・得点王	上町 史織	(北國銀行)	135点	2 回目
・フィールド得点賞	郭 惠静	(ソニーセミコンダクタ九州)	104点	7 回目
・シュート率賞	高栖 由香	(ソニーセミコンダクタ九州)	0.841	初
・7mスロー得点賞	上町 史織	(北國銀行)	44点	2 回目
・7mスロー阻止率賞	家城 千春	(HC名古屋)	0.485 (16/33)	初
・最優秀選手賞	上町 史織	(北國銀行)		2 回目
・最優秀新人賞	高橋 恵	(ソニーセミコンダクタ九州)		初
・ベストセブン	G K 田代ひろみ	(北國銀行)		2 回目
	C P 洪 廷昊	(オムロン)		3 回目
	高橋 恵	(ソニーセミコンダクタ九州)		初
	横嶋かおる	(北國銀行)		3 回目
	上町 史織	(北國銀行)		3 回目
	藤井 紫緒	(オムロン)		初
	城内 真紀	(オムロン)		2 回目
・ベストディフェンダー賞	中村 香理	(北國銀行)		初
・フェアプレー賞	H C 名古屋		74点/15試合 (4.9点/試合)	

プレーオフ情報

第34回日本ハンドボールリーグの“ファイナルステージ”となるプレーオフは3月20、21日に東京体育館で行われる。レギュラーシーズンの男子4位以内、女子3位以内が進出して優勝を争う、大会日程、組み合わせなどは以下の通り。

プレーオフ日程表

月/日(曜)	開催地	会 場	男/女	カード
3月20日(土)	東京	東京体育館	女子	13:00~ ①プレーオフ準決勝 オムロン (通算2位) vs ソニーセミコンダクタ九州 (通算3位)
			男子	15:00~ ②プレーオフ準決勝 大同特殊鋼 (通算1位) vs (通算4位)
			男子	17:00~ ③プレーオフ準決勝 (通算2位) vs (通算3位)
3月21日(日)	東京	東京体育館	女子	13:00~ プレーオフ決勝 北國銀行 (通算1位) vs ①の勝者
			男子	15:15~ プレーオフ決勝 ②の勝者 vs ③の勝者

〈男子組み合わせ〉

大同特殊鋼 (通算1位)	3月20日 15:00~	
(通算4位)		3月21日 15:15~
(通算3位)		
(通算2位)	3月20日 17:00~	

■出場確定：大同特殊鋼（レギュラーシーズン1位が確定）、トヨタ車体

〈女子組み合わせ〉

北 國 銀 行 (通算1位)		3月21日 13:00~
オ ム ロ ン (通算2位)	3月20日 13:00~	
ソニーセミコンダクタ九州 (通算3位)		

〈テレビ中継〉

試合日時	対戦カード	放送日	放送時間	放送チャンネル
3月20日(土)	男女準決勝	3月20日(土)	13:00~18:58 (生中継)	BS12
3月21日(日)	男女決勝	3月21日(日)	13:00~16:58 (生中継)	BS12

※両日とも放送時間延長あり

■東京体育館 渋谷区千駄ヶ谷1-17-1

●03-5474-2111 JR中央線千駄ヶ谷駅徒歩1分

入場料金

券 種	当日券	前売券
一般・大学生	2,000 円	1,700 円
中高生	1,000 円	800 円
中高生5名券	-	3,000 円
小学生以下	無 料	-

※アリーナ席、一般席（2階席、3階席）とも、全席自由席です。

※上記券種ご購入で、アリーナ席で観戦いただけます（先着順）。

※中高生5名券は5枚同時発券で、前売券のみ販売します。

◎前売券販売について

※チケットぴあにて販売中

Pコード：815-679

※購入方法詳細はチケットぴあHPをご覧ください。

<http://t.pia.jp/>

男女個人ランキング 第21週終了

《男子》

《女子》

得点王

1	末松 誠	(大同特殊鋼)	102 点	(13試合)	1	上町 史織	(北 國 銀 行)	135 点	(15試合)
2	門山 哲也	(トヨタ車体)	83 点	(12試合)	2	郭 惠静	(ソ ニ ー)	104 点	(15試合)
3	今村 彰伸	(豊 田 合 成)	76 点	(13試合)	3	植垣 暁恵	(メイプルレッズ)	99 点	(15試合)
4	村上 秀行	(トヨタ紡織九州)	75 点	(13試合)	4	藤井 紫緒	(オ ム ロ ン)	92 点	(13試合)
5	東長濱秀作	(湧 永 製 薬)	72 点	(12試合)	5	横嶋かおる	(北 國 銀 行)	86 点	(15試合)
6	豊田 賢治	(大 崎 電 気)	69 点	(13試合)	6	伊藤亜衣美	(バイオレットアイリス)	80 点	(15試合)
7	銘苅 淳	(トヨタ車体)	68 点	(13試合)	7	高橋 恵	(ソ ニ ー)	71 点	(13試合)
8	武田 享	(大同特殊鋼)	65 点	(12試合)	8	高栖 由香	(ソ ニ ー)	69 点	(15試合)
8	村山 裕次	(琉球コラソン)	65 点	(13試合)	9	高田 裕梨	(オ ム ロ ン)	65 点	(15試合)
10	小澤 広太	(大 崎 電 気)	63 点	(13試合)	10	桂 裕美子	(バイオレットアイリス)	57 点	(15試合)
10	中畠 嘉之	(トヨタ紡織九州)	63 点	(14試合)	11	洪 廷昊	(オ ム ロ ン)	56 点	(15試合)
12	志慶真龍我	(琉球コラソン)	60 点	(13試合)	12	東濱 裕子	(オ ム ロ ン)	54 点	(15試合)
13	呉 相民	(トヨタ紡織九州)	59 点	(14試合)	13	橋本 寛子	(バイオレットアイリス)	53 点	(15試合)
13	藤山 岳士	(トヨタ紡織九州)	59 点	(14試合)	14	菅谷 美奈	(H C 名 古 屋)	51 点	(15試合)
15	神田 友和	(北 陸 電 力)	58 点	(14試合)	15	若松 里佳	(北 國 銀 行)	50 点	(15試合)

フィールド得点

1	末松 誠	(大同特殊鋼)	92 点	(13試合)	1	郭 惠静	(ソ ニ ー)	104 点	(15試合)
2	門山 哲也	(トヨタ車体)	83 点	(12試合)	2	上町 史織	(北 國 銀 行)	91 点	(15試合)
3	今村 彰伸	(豊 田 合 成)	76 点	(13試合)	3	横嶋かおる	(北 國 銀 行)	86 点	(15試合)
4	村上 秀行	(トヨタ紡織九州)	74 点	(13試合)	4	高栖 由香	(ソ ニ ー)	69 点	(15試合)
5	武田 享	(大同特殊鋼)	65 点	(12試合)	4	植垣 暁恵	(メイプルレッズ)	69 点	(15試合)
6	小澤 広太	(大 崎 電 気)	63 点	(13試合)	6	高田 裕梨	(オ ム ロ ン)	65 点	(15試合)
6	中畠 嘉之	(トヨタ紡織九州)	63 点	(14試合)	7	伊藤亜衣美	(バイオレットアイリス)	63 点	(15試合)
8	志慶真龍我	(琉球コラソン)	59 点	(13試合)	8	藤井 紫緒	(オ ム ロ ン)	61 点	(13試合)
8	呉 相民	(トヨタ紡織九州)	59 点	(14試合)	9	桂 裕美子	(バイオレットアイリス)	57 点	(15試合)
10	神田 友和	(北 陸 電 力)	58 点	(14試合)	10	洪 廷昊	(オ ム ロ ン)	56 点	(15試合)

シュート率 (フィールド得点ベスト10を対象)

1	末松 誠	(大同特殊鋼)	92点/130射 0.708	1	高栖 由香	(ソ ニ ー)	69点/ 82射 0.841
2	村上 秀行	(トヨタ紡織九州)	74点/115射 0.643	2	横嶋かおる	(北 國 銀 行)	86点/ 110射 0.782
3	小澤 広太	(大 崎 電 気)	63点/ 98射 0.643	3	高田 裕梨	(オ ム ロ ン)	65点/ 105射 0.619
4	志慶真龍我	(琉球コラソン)	59点/100射 0.590	4	桂 裕美子	(バイオレットアイリス)	57点/ 93射 0.613
5	門山 哲也	(トヨタ車体)	83点/141射 0.589	5	上町 史織	(北 國 銀 行)	91点/ 156射 0.583

7mスロー得点

1	藤山 岳士	(トヨタ紡織九州)	27 点	(14試合)	1	上町 史織	(北 國 銀 行)	44 点	(15試合)
2	銘苅 淳	(トヨタ車体)	26 点	(13試合)	2	藤井 紫緒	(オ ム ロ ン)	31 点	(13試合)
3	村山 裕次	(琉球コラソン)	21 点	(13試合)	3	植垣 暁恵	(メイプルレッズ)	30 点	(15試合)
4	東長濱秀作	(湧 永 製 薬)	19 点	(12試合)	4	東 サヤカ	(ソ ニ ー)	20 点	(14試合)
5	豊田 賢治	(大 崎 電 気)	14 点	(13試合)	5	菅谷 美奈	(H C 名 古 屋)	18 点	(15試合)

7mスロー阻止率 (7mスローを受けた数が、チームの試合数以上のGKが対象)

1	坪根 敏宏	(トヨタ車体)	9本/ 17射 0.529	1	家城 千香	(H C 名 古 屋)	16本/ 33射 0.485
2	田平龍太郎	(トヨタ車体)	6本/ 14射 0.429	2	勝田 祥子	(オ ム ロ ン)	7本/ 16射 0.438
3	松野 雅崇	(トヨタ紡織九州)	10本/ 26射 0.385	3	堂面 妙子	(メイプルレッズ)	9本/ 25射 0.360
4	東 佑三	(大 崎 電 気)	6本/ 16射 0.375	4	中島 亜樹	(ソ ニ ー)	5本/ 16射 0.313
5	藤田 東吾	(豊 田 合 成)	5本/ 16射 0.313	5	寺田三友紀	(北 國 銀 行)	11本/ 37射 0.297

第 34 回 日 本 ハ ン ド ボ ー ル リ ー グ 成 績 表

第21週終了 2月28日

順位	男 子	大 同 特殊鋼	トヨタ 車 体	ト ヨ タ 紡織九州	湧永製薬	大崎電気	豊田合成	琉 球 コラソン	北陸電力	試 合 数	勝 数	引 分 数	敗 数	勝 点	総 得 点	総 失 点	差
1	大 同 特 殊 鋼		30 27 ○ △ 23 27	35 28 ○ ● 29 29	32 29 ○ ○ 26 25	24 ○ 19	48 40 ○ ○ 24 19	35 37 ○ ○ 24 19	36 40 ○ ○ 23 24	13	11	1	1	23	441	311	130
2	ト ヨ タ 車 体	23 27 ● △ 30 27		27 31 ● ○ 28 30	32 33 ○ ○ 30 26	25 30 ● ○ 36 22	30 ○ 24	33 30 ○ ○ 23 27	28 30 ○ ○ 17 23	13	9	1	3	19	379	343	36
3	トヨタ紡織九州	29 29 ● ○ 35 28	28 30 ○ ● 27 31		23 31 △ ● 23 34	30 26 △ ● 30 28	40 37 ○ ○ 21 27	36 29 ○ ○ 28 24	30 32 ○ ○ 23 23	14	8	2	4	18	430	382	48
4	湧 永 製 薬	26 25 ● ● 32 29	30 26 ● ● 32 33	23 34 △ ○ 23 31		28 27 ○ ○ 21 25	39 31 ○ ○ 23 20	37 ○ 26	35 33 ○ ○ 17 16	13	8	1	4	17	394	328	66
5	大 崎 電 気	19 ● 24	36 22 ○ ● 25 30	30 28 △ ○ 30 26	21 25 ● ● 28 27		43 30 ○ ○ 18 19	34 34 ○ ○ 27 27	28 24 ○ ○ 24 18	13	8	1	4	17	374	323	51
6	豊 田 合 成	24 19 ● ● 48 40	24 ● 30	21 27 ● ● 40 37	23 20 ● ● 39 31	18 19 ● ● 43 30		22 33 △ ○ 22 29	22 24 △ ○ 22 17	13	2	2	9	6	296	428	-132
7	琉 球 コ ラ ソ ン	24 19 ● ● 35 37	23 27 ● ● 33 30	28 24 ● ● 36 29	26 ● 37	27 27 ● ● 34 34	22 29 △ ● 22 33		33 27 ○ ○ 29 18	13	2	1	10	5	336	407	-71
8	北 陸 電 力	23 24 ● ● 36 40	17 23 ● ● 28 30	23 23 ● ● 30 32	17 16 ● ● 35 33	24 18 ● ● 28 24	22 17 △ ● 22 24	29 18 ● ● 33 27		14	0	1	13	1	294	422	-128

順位	女 子	北國銀行	オムロン	ソニーセミコン ダクタ九州	広島メイプル レッズ	三重バイオ レットアイリス	HC名古屋	試 合 数	勝 数	引 分 数	敗 数	勝 点	総 得 点	総 失 点	差
1	北 國 銀 行		30 19 24 ○ ● △ 25 21 24	33 23 31 ○ ● ○ 27 31 24	34 31 26 ○ ○ ○ 28 22 23	29 30 22 ○ ○ ○ 21 18 14	37 31 27 ○ ○ ○ 16 15 14	15	12	1	2	25	427	323	104
2	オ ム ロ ン	25 21 24 ● ○ △ 30 19 24		27 36 24 ● ○ ○ 28 21 22	33 36 34 ○ ○ ○ 17 15 21	23 28 27 ○ ○ ○ 16 19 20	40 37 33 ○ ○ ○ 11 14 12	15	12	1	2	25	448	289	159
3	ソニーセミコンダクタ九州	27 31 24 ● ○ ● 33 23 31	28 21 22 ○ ● ● 27 36 24		45 39 31 ○ ○ ○ 26 24 29	32 35 31 ○ ○ ○ 20 28 25	42 42 34 ○ ○ ○ 15 20 21	15	11	0	4	22	484	382	102
4	広 島 メ イ プ ル レ ッ ズ	28 22 23 ● ● ● 34 31 26	17 15 21 ● ● ● 33 36 34	26 24 29 ● ● ● 45 39 31		28 15 19 ○ ● ○ 27 21 16	36 33 32 ○ ○ ○ 20 13 18	15	5	0	10	10	368	424	-56
5	三 重 バ イ オ レ ッ ト ア イ リ ス	21 18 14 ● ● ● 29 30 22	16 19 20 ● ● ● 23 28 27	20 28 25 ● ● ● 32 35 31	27 21 16 ● ○ ● 28 15 19		30 31 27 ○ ○ ○ 15 16 13	15	4	0	11	8	333	363	-30
6	H C 名 古 屋	16 15 14 ● ● ● 37 31 27	11 14 12 ● ● ● 40 37 33	15 20 21 ● ● ● 42 42 34	20 13 18 ● ● ● 36 33 32	15 16 13 ● ● ● 30 31 27		15	0	0	15	0	233	512	-279

※上位3チームはプレーオフで順位を決定する。1-2位は対戦間得失点差による。

※この星取り表は、シーズン途中は試合数に関係なく、仮の順位で並び替えてあります。

同勝点の場合は、1. 対戦間勝点 2. 対戦間得失点差 3. 総得失点差 4. 総得点 の多い順で順位付けしています。